

地域医療を守るための青写真「概要版」

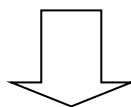
- * 中長期的な公立病院等のあり方を明らかにし、「中津川市地域保健医療計画」及び「中津川市公立病院改革プラン」を
実行するため、「地域医療を守るための青写真」を策定する。
- * この青写真では「市民病院」と「坂下病院」及び「公立診療所」の担うべき役割を明確にし、
それぞれが連携強化し、大学医学部医局の指導・協力を得て、青写真の実現に取り組む。

地域医療の現状と課題

- ・ 人口が減少傾向、高齢化が急速に進み、高齢者世帯、高齢者の独居世帯が増加している。
- ・ 65歳以上の入院患者割合が70%を超えており、年々増加する傾向にある。
- ・ 生活習慣病で受診している割合が高い。
- ・ 死亡原因別では、急性心筋梗塞や脳出血の死亡率が高い。(生活習慣病が関与)
- ・ 病院とかかりつけ医との役割分担の明確化が不十分で連携も不足
- ・ 高齢者に対する医療が不十分 (リハビリ、療養病床不足)
- ・ 在宅医療の支援体制が不十分 (医療、保健、福祉・介護の連携不足)
- ・ 医師不足、看護師不足 (公立病院)
市民病院の内科初診外来を休止 両病院の病床の休床 (市民病院87床、坂下病院39床)
- ・ 市民病院と坂下病院の連携不足、両病院の経営難
H20年には市民病院に一般会計から7億円を緊急繰入

* 安定的で地域格差のない医療サービスの提供が必要

* 公立病院と民間医療機関の役割分担と保健、医療、福祉・介護の連携が必要



地域医療のあるべき姿 (基本的な考え方)

- 1 安定的な医療提供体制の構築
 - ・ 住み慣れた地域で安心して暮らしていける医療提供体制の構築
 - ・ 地域間格差のない地域医療提供体制の構築
- 2 地域包括ケアの推進
 - ・ 保健、医療、福祉・介護の切れ目のない地域連携体制の構築
- 3 医療機関の連携強化
 - ・ 公立病院・診療所及び民間医療機関が役割を分担し、強い連携体制を構築

基本イメージ図 (別紙)

機能分担と連携不足 (現状) ⇒ 機能分担と連携の充足 (あるべき姿)

各医療機関等の役割

市民病院の役割

- ・東濃東部及び長野県木曾南部地域の中核病院として充実
- ・急性期医療、二次医療、二次救急医療、周産期医療など地域において不可欠な医療の確実な提供

坂下病院の役割

- ・中津川市東部を中心とした地域（木曾南部地域を含む）の地域医療の拠点として、地域に必要な一般診療の実施
- ・中津川市東部を中心とした地域の地域包括ケアの実施
- ・急性期以降の後方支援機能（回復期機能、療養機能等）の充実と在宅医療の支援強化

公立診療所の役割（蛭川・川上・阿木診療所）

- ・民間医療機関がない地域でかかりつけ医としての機能を担う
- ・大学医学部医局との連携による研修医の研修フィールドとしての活用

地域総合医療センターの役割

地域医療を担う医師を確保し、地域医療の活性化を図るため、名古屋大学医学部附属病院総合診療科と協力・提携して市に「地域総合医療センター」を設置し、次の具体的な役割を担う

- ・市民病院等への医師派遣　・公立診療所への医師派遣　・地域包括ケアの推進　・研修医等の教育及び総合医養成（名大医学部との連携）

かかりつけ医の役割

- ・疾病の治療、健康管理上の相談など、主治医の役割
- ・一次医療、在宅医療、入院治療後の外来、休日・平日夜間在宅当番医、健診

公立病院の緊急取組事項

○医師確保対策

- ・大学医学部医局に対し医師派遣の強力な要請、医師の勤務意欲が湧く環境の整備、研修医の確保、奨学資金の貸与、地域総合医療センターの設置　など

○看護師確保対策

- ・修学資金の貸付、就職準備資金の貸与
- ・働き続けられる環境の整備（院内保育所の設置、2交代制の導入）
- ・教育・研修環境の整備（専門資格取得研修の受講等）　など

○市民病院と坂下病院の一体的な運営

機能・役割の見直し

- ・市民病院と坂下病院の機能や役割を見直し、医療サービス全体の質の向上を図る。
- ・具体的には、両病院の類似的な医療サービス提供、医療機器の整備、人員の配置など一体的な管理運営を行う。

マネジメント力の強化

- ・病院事業全体を統括し、市民病院と坂下病院を一体的に運営する管理者を設置する。
- ・病院事業の抜本的な改革が図れるよう、公営企業法の全部適用、指定管理者制度の導入、地方独立行政法人化などを比較・検討し、運営形態を見直す。

人事の一本化、経営改革

- ・両病院の医療従事者を一体的に管理し、機能・必要度に合わせて適正配置する。
- ・市の公立病院改革プランにより、両病院が数値目標に基づく計画的な経営改革を実施する。
- ・一般会計からの繰出しは、国の定めた基準、病院経営の状況等を考慮して行なう。

○医師にとって魅力ある病院の構築

- ・人材育成システムの構築、勤務環境の改善、待遇改善、積極的な医師の養成、女性医師の勤務支援

○基本イメージ ～安心できる温かい福祉のまちづくりに向けて～

～住み慣れた地域で安心して暮らしていくために～

